

保護者の皆様へ スマイル

令和7年2月25日

NO 10

文責 矢田



今回は学校薬剤師の村田先生による「薬物乱用防止教室」(対象：6年生)の講話について紹介します。実際に実験を行ったり、たくさんの資料を見せていただきながら、たくさんの学びがありました。将来にも目を向け、どのように自らの健康や危険を回避していくのか考える機会となりました。



6年：薬物乱用防止教室

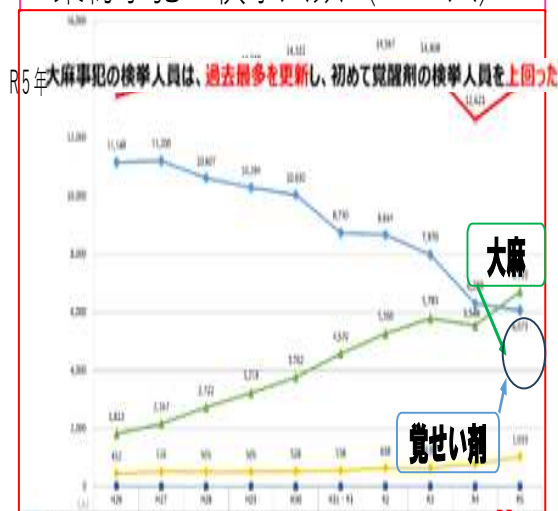
〔セルフメディケーション〕

セルフメディケーションとは、「自分自身で健康状態を把握しながら、自らケアを行う」という考え方です。市販薬を上手に使いながら、規則正しい生活習慣を心がけることなどが現在勧められています。

〔大麻の検挙数の増加〕

ここ数年、大麻による検挙数が急増しており、これまで最も多かった覚醒剤を上回っています。年齢別にみると20歳未満の若者が急増しており、動機としては「誘われて」「好奇心・興味本位」「その場の雰囲気」が多いようです。薬物は様々な呼び方がされており、海外ではクッキーやキャンディに混ぜて売られていることもあります。SNS等により、以前より、簡単に手に入れることができます。身近に危険があることに危機感を持たなければならないと強く感じました。

薬物事犯の検挙人数 (6482人)



(警察庁：令和3年における組織犯罪の情勢/令和3年4月)



●大麻使用の経緯
✓ 誘われて (80.2%)

●大麻使用の動機
✓ 好奇心・興味本位
✓ その場の雰囲気
✓ クラブ・イベントの等の高揚感
✓ パーティ感覚

〔児童の感想〕

- ・覚醒剤が外国でクッキーや食べ物に入れているのがわかったので海外に行ったときに気をつけたいです。
- ・薬物乱用やタバコ・お酒は体に害があると知っていたけど、場合によっては幻覚や妄想が起き、周りの人を傷つけてしまうと知って本当に注意しなければならないんだなと思いました。

児童のみなさんへ スマイル

令和7年2月25日

NO 10

文責 矢田



先日、6年生のみなさんは「薬物乱用防止教室」といって、いろいろな薬について学習しました。今日はその中からみなさんにも知っていてほしいことをお知らせします。

〔タバコの害〕

タバコには体によくない成分が200種類以上入っています。ネズミやゴキブリを殺す成分も入っているんですよ。タバコの入った水にミミズを入れると、とても体を動かして苦しんでいました。人間にも「がん」という病気になりやすくなることがわかっています。

〔お薬の正しい飲み方〕

みなさんは正しいお薬の飲み方をしていますか？右のクイズに挑戦してみましょう。

正解は3 水です。

次のような飲み物でのむと薬がじゅうぶんに効かないことがあります。

薬を飲むときは正しい飲み方で飲むようにしましょう。

お茶：薬が効きにくくなることもある。

牛乳：薬が効くまでに時間がかかることがある。

コーラ：カフェインで眠れなくなることがある。

ジュース：くすりの効き方がかわることがある。



- ・5300種類の化学物質
- ・有害物質200種類以上
- ・発がん性物質70種類

A 薬は、どの飲み物で服用するのが正しいのでしょうか？



6年生の感想

- ・学習してびっくりしたことは薬といっしょにのむのみものによって薬のききかたがかわることです。
- ・タバコにはタール、一酸化炭素、ニコチンがあり、ミミズにニコチンを入れると苦しそうにしていたので、大人になってもタバコは吸わないようにしたいです。
- ・薬を服用するときには飲む量や頻度をしっかり確認しようと思いました。